

2008・2009 年度経済見通し(2008年9月改訂)

4～6月期のGDP統計(2次速報)の発表を受け、経済見通しの改訂を行った。原材料価格高騰に伴う企業収益の悪化と輸出の減速により、当面、景気は停滞するものの、過剰設備、過剰雇用がほぼ存在せず、在庫の調整圧力も軽微であることから、今回の景気後退は深いものにはならないという、前回予測の基本シナリオには変更はない。4～6月期のGDPの下方修正に伴い、実質GDPの年度予測値も下方修正した。

実質成長率：2008年度 0.7%(前回予測1.0%)、2009年度 1.5%(前回予測1.5%)

予測表

年度	2007 実績	今回予測		前回予測(08.8.13)	
		2008 予測	2009 予測	2008 予測	2009 予測
実質 GDP	1.6	0.7	1.5	1.0	1.5
民間消費	1.4	0.5	1.3	0.6	1.3
住宅投資	-13.3	-5.5	2.8	-5.4	2.8
設備投資	-0.1	0.1	2.0	0.5	2.0
政府消費	0.7	0.4	0.7	0.5	0.7
公共投資	-1.8	-3.0	-1.3	-3.0	-1.3
輸出	9.5	3.1	3.8	3.4	3.8
輸入	2.0	-0.9	2.8	-1.1	2.8
名目 GDP	0.6	-0.4	1.7	0.0	1.7
GDP デフレーター	-1.0	-1.0	0.3	-0.9	0.3

[実質GDP寄与度]

内需	0.3	0.1	1.1	0.3	1.1
外需	1.3	0.6	0.3	0.7	0.3

(注)単位は前年度比、%

[四半期]

	2008 → 予測				2009 1～3
	1～3	4～6	7～9	10～12	
実質 GDP	0.7	-0.7	0.4	0.2	0.3
名目 GDP	0.2	-0.8	0.2	0.2	0.5

(注)単位は前期比、%

* 本資料は内閣府記者クラブにて配布いたしております。

《本件に関するお問い合わせ先》 株式会社富士通総研 経済研究所 上席主任研究員 米山秀隆
電話 03-5401-8392(直通)
E-mail: yoneyama.hide@jp.fujitsu.com

《報道関係者お問い合わせ先》 株式会社富士通総研 管理部(広報担当)
電話:03-5401-8391(直通)